



# いしべっ子

ホームページ [http://www.edu-konan.jp/ishibe-el/]

電話: 77-2030

Fax: 77-6733

## 連絡簿は子どもからのメッセージ

校長 谷口 茂雄

私には、この子と出会うことによって一人前の教師になれたと思える子どもが何人かありますが、そのうちの一人にN君がいます。初めて一年生を担当したときの子どもで、入学したときには全く文字が書けませんでした。

当時の私は、子どもの生活や思いを知っておきたいとの考えから、「ひびき」というプリント日記を書かせておりました。

4月のある日、N君が右図のようなひびきを提出いたしました。これを見て私は困ってしまいました。何と赤ペンを入れてよいか分からなかったからです。

まさか「よかったね」と書くわけにもいきません。「何を書いたの」と書けば、文字の書けないN君の表現意欲をそいでしまいます。仕方がないので、この「ひびき」は預かっておくことにしました。

ところが、更に困ったことに、N君は次の日もその次の日も、同じような「ひびき」を書いてくるのです。

「ひびき」が5～6枚もたまった頃、お手上げになった私は、とうとうN君に言いました。

「N君、すまんけど、この絵何の絵か教え

てくれへん？」

N君は、下を向きながら、小さな声で答えてくれました。

「カブの幼虫（カブトムシの幼虫）」

N君に教えられて「ひびき」を並べてみると、カブトムシの幼虫が少しずつ変化しています。育っているのです。まだ平仮名がうまく書けないN君は、カブトムシを飼っていることや、幼虫が動いたり大きくなったりしていることを、絵で伝えていたのでした。

子どもの表現からその子のメッセージを受け取り、子どもの気持ちを学ぼうと、本気で考えるようになったきっかけでした。

私たち大人には何をしたいのかがよく分からないことでも、子どもには大人に伝えたいことがあります。伝えたいことを分かってもらえたと感じたとき、子どもはその人に信頼感を抱き、その信頼に応えようとします。

大人でも子どもでも、信頼されていると感ずれば、その信頼に応えようとするものですし、この程度だと思われておれば、その程度のことしかしないものです。大人でも子どもでも、「人生、意気に感ず」です。

連絡簿をお渡しする時期になりましたが、連絡簿の評価は学習や生活の「結果」です。結果には必ず「原因」があります。原因が分かれば、「対策」が立てられます。



